

ライフステージを軸とした女性の健康管理のための情報支援

笹川 郁衣

本研究は、女性の健康管理を、情報を用いて支援することを目的とする。そのために、女性の身体の変化と年齢を考慮した女性特有のライフステージに応じて、検診の受診、予防接種などにつながると考えられる情報を提供する Web サイトを提案し、試作した。

本研究による情報支援 Web サイトは、女性ホルモンによる女性の身体の変化をライフステージとしてとらえ、各ライフステージにとくに役立つ情報を入手できるようにした。女性ホルモン、月経、妊娠などの女性の身体のしくみに関する情報を提供することにより、利用者は女性の身体についての理解を深めることが可能になった。また、ライフステージが変わることにより罹患する可能性が高まる疾患や、死亡原因の 1 位であるがんに関する情報も入手できるようにしたため、女性の健康管理に対する意識を高め、さらに検診や病院を受診することの必要性を知ることができるようになった。また、茨城県内の 3 市における、がん検診や予防接種の実施についての情報を提供したため、該当地域の検診や予防接種について具体的に知ることができるようになったと考えられる。

試作した情報支援 Web サイトは左右のフレームで分け、左側のフレームに女性の身体のしくみ、疾患、検診と予防接種の各ページにリンクを貼って表示したことにより、これらの情報をいつでも見ることができるようにした。また、疾患、および、検診と予防接種のページにライフステージフィルタを設置したことにより、各ライフステージにおける罹患の可能性が高い疾患や、受診が推奨されている検診や予防接種について、分かりやすく表示することができた。本研究による情報支援 Web サイトを利用することにより、ライフステージを見通した健康管理に対する意識が高まり、病院の受診や検診の受診などに繋がることを期待できる。

(指導教員 岩澤まり子)